

今年2月、JAXAの宇宙飛行士候補者に選抜された米田あゆさんは、外科医として活躍する女性だ。研修医の頃、医師として自信が持てなくなった時、先輩医師から次のようなアドバイスを受けたそうだ。

「どこかで行った決断とか選択が正しかったのかとみんな思うけど、その道を正しい道にするのは自分だからね」

新型コロナウイルス感染症の航空分野への影響も、感染症分類が5類に移行された現在は解消に向かっており、航空関連の求人はいくらでも

人生の選択

中日本航空専門学校就職
キャリア支援センター長 市原敏朗



の状況に戻った。今後を見据えてさらに積極的に採用を行う企業も現れていて、学生は選択肢の多さに迷っている状況だ。

就職活動では受験企業の選択や、目標企業の受験がうまく行かなかった時の次の企業選択など、決断を迫られる場面がある。就職先は今後の人生に大きく影響するため、選択に悩むのは当然だが、就職活動を上手に乗り切っていく学生は迷いをきっちり吹っ切り、決断して前に進んでいく。

決断力はそれまでの知識や経験で養われるものだと思うが、人生経験が豊富なと言えない学生たちは決断に際し、性格面の影響が大きくなる。決断できず何度も相談に来る学生には、自分が大切にしたい事項の優先度から考えるよう指導しているが、彼らには改めて米田さんの先輩医師の言葉を伝えたい。

自身で選択し決断した後、その道がどのような道だろうとも選択を後悔せず、将来その道が正しい道だったと思えるように努力していった。その思いがあれば、今後多く起こるであろう人生の選択を手助けしてくれるだろう。